

(城川町) 遊子川地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
・災害時に孤立する可能性が高い	・無線の配置（今年手上げ方で） ・2年に1回避難訓練（コロナでできていない） ・消防団の活動	3	・無線を使った避難訓練
・高齢者は通院が大変	・デマンド等で補えない所は、タクシーを利用している ・デマンドタクシーを利用している。（促進もしている） ・移動診療が来ている ・定期通院には十分だが、救急時には…	4	・デマンドタクシーの利用促進
・各種団体・役員のかげもちがあり負担が大きい	・組織の見直し（現在も行っている） ・コロナで集まっている回数が少なくなっている	3	・組織の見直し
・共同作業の負担が大きい	・草刈りでなく除草剤を使っている ・生活道路を守るため、草刈り（回数は変わっていない） ・住民での活動にも限界がある	3	・作業の割り振りの見直し

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

遊子川地区の課題で「高齢者の通院が大変」については、車の免許を持ってない方や既に免許を返納された方が病院に行くために、デマンドタクシーを利用するか一般のタクシーで通わなくてははいけない。また移動診療所が週に1度来てはもらうが、救急の時はとても心配との声があった。

また、「災害時に孤立する可能性が高い」「各種団体・役員のかげもちがあり負担が大きい」の課題については、土地柄や高齢化の影響も大きく、その中でも地域が一体となり、この課題に一人ひとりが真剣に考えられていると私は感じました。

(城川町) 土居地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
・災害時の高齢者の避難	・民生委員としての地域での声掛け ・集会所を避難所に（窪野地区） ・自主防災組織として、ハード面強化（発電機等）	3	・奥伊予荘を利用（雨の避難以外） ・独居高齢者の名簿の見直し
・買い物、通院が不便	・市外からの移動販売を利用 ・生協の利用の増加 ・委託店の無料配達利用（土居地区） ・地元商店の移動販売（窪野方面）	2	・ふるさと創生会のネット購入利用の支援（家電）
・高齢者の病気	・隣近所の見守り・声掛けの継続 ・民生委員による、日頃からの緊急時の対応の助言	3	・民生委員・区長の活動における声かけ・対面の重視 ・回覧板配布時の声掛け・安否確認 ・地域での情報共有
・独居高齢者の生活の不安	・独居高齢者の食事会（コロナ前）	3	・地域での情報共有
・高齢者のゴミ出し	・軽トラ等を使用している粗大ごみの回収	4	・粗大ごみ回収ボランティアの継続（1件 500円）

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

日頃から住民同士のコミュニケーションが活発に行われ、顔の見える関係が築かれている地域で、「高齢者のゴミ出し」という課題に対して、軽トラ等を使用している粗大ごみの回収をしており、達成度も「4」と高い。「高齢者の病気」「独居高齢者の生活の不安」という課題に対しても、区長さん、民生委員さんを始めとした住民の皆さんが対面での声かけ・見守りを大切にしており、地域で出来ることとして上げられた、地域全体で情報を共有していただくことでより不安が解消されるのではないかと思います。「買物が不便という課題」も、ふるさと創生会のネット購入支援や高齢者の生協利用者が増加していることから、これが新たな支え合いの場になっていくのではないかと感じた。

(城川町) 高川地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地が増えている 道路を含む草刈りが大変 	<ul style="list-style-type: none"> 木下牧場さんが耕作放棄地を活用して、飼料作付けをしている。(それでも耕作放棄地が増加。特に山際の不便な農地。) 高齢化で草刈り機を使える人が減っている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 桃の木の成長に期待。 河津桜を道沿いで楽しむ 農機具等のシェア 高川の各家にも桃の木が植えてある
<ul style="list-style-type: none"> 役員になるといろいろな地域活動に参加することが多く大変 	<ul style="list-style-type: none"> コロナにより地域活動自体が減少。 婦人会会員が少なくなった。 一人が色々な役員をしていて大変。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 役の数を見直す 色々なお知らせを素早く的確に伝える。(住民の多くが参加のLINEグループを作る。災害の時にも有効。) 役になっても楽しく参加できる仕組みづくり。
<ul style="list-style-type: none"> クアテルメ宝泉坊が存続の危機 	<ul style="list-style-type: none"> (経営母体が) 民間企業に変わり存続している。 	4	<ul style="list-style-type: none"> クアテルメと地区が協働してイベントを行う。
<ul style="list-style-type: none"> 若者の地域での負担が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の定員割れで災害時が不安になってきた。 青年団もなく、若い世代(消防団)メインでやる活動が多くなっている。 お試し住宅を活用して関係人口を増やしていく。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 移住者の地域おこし協力隊を増やして負担を減らす。 四国発で始めたフットパス(協会加入)をジオパークと絡めて西予市全体に広がることを願っている。
<ul style="list-style-type: none"> その他 	<ul style="list-style-type: none"> 売店が無くなり不便になった。(買い物ができない。地産地消ができない。) 愛大生を中心として行われているスイジ活動により、OB・OGの交流が続いている。 交流人口の増加。(穴神フットパスで関係人口の増加。) 	4	

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

地域課題の多くが人口減少に伴う課題である。環境を活用した事業展開や、関係人口増加につながる事業を積極的に展開して、地域外の方に興味関心を抱いてもらえるような仕掛けをたくさんされている。また、桃の植樹などで新たな観光名所を創設したり、既存の地域資源を活用したりと活発に活動されている。地域の役員等の既存の体制から、現状に寄り添った体制へと転換することで、地域住民の負担削減と安心安全の両立に期待する。

(城川町) 魚成地区

地域の課題	地域で行ったこと	達成度	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の活性化について 	<ul style="list-style-type: none"> ササ見ネーション（夕涼み会） コスモまつり（バーベキュー）桜の森のイベント 三世代交流会 棚田キャンドルショー 	4	<ul style="list-style-type: none"> カフェおしゃべりできる場 子どもと交流できる場
<ul style="list-style-type: none"> 独居高齢者の増加 ⇒声かけ・見守りについて 	<ul style="list-style-type: none"> 弁当配布（独居） 新聞屋さん郵便局と連携し情報提供をお願い 魚成、田穂サロン 声かけ散歩（老人同士で） 婦人会で介護の研修 	3	<ul style="list-style-type: none"> おた助回転灯の設置事業（独居老人宅）地域住民の見守り
<ul style="list-style-type: none"> 病院がない ⇒健康づくりについて 	<ul style="list-style-type: none"> 体操を行っている（月2回） クローケー 卓球で高齢者見守り（週2回水・土）おしゃべり 	3	
<ul style="list-style-type: none"> 防災について 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者支援 台風等の時、高齢者の見守りをする（避難所への声かけ等）民生委員のネットワーク、意識が高い 	3	
<ul style="list-style-type: none"> お店（食糧品）がない 	<ul style="list-style-type: none"> お店がないのでひがし君の移動販売を利用 家族がサポート 	3	<ul style="list-style-type: none"> 朝市→Yショップ隣でマルシェ 移動販売（依頼）

01

【担当者(ファシリテーター)のコメント】

「地域活動の活性化について」は、様々な取り組みが上げられ、参加者同士“コロナでも進んでいる”という思いを共有できた。課題についての達成度は現状維持という意味での「3」が多い。また「独居高齢者の増加」について、民生委員さんを中心とした平時の声かけや見守りが活発に行われている。それが台風等の時の避難誘導に活かされ、防災への取り組みにつながっているようである。地域で出来ることについて、「おしゃべりできるカフェ」や「朝市」などの意見が出て、実現すれば、より一層地域のつながりを感じられるような取り組みになるのではないかと、わくわくしている。